

事業報告書

日時	令和2年11月28日(土) 14:00~16:00
目的	<p>男性の家事・育児参画を促進していくためには、男女が協力して家事・育児を行ったり、男女が共同して社会に参画したりすることの重要性や家庭の大切さについて、教育・啓発を通じて伝えていくとともに、生活を営むために必要な衣食住や保育などに関する知識や技術を身に付けられるような取組を行うことが重要である。</p> <p>最近では子どもがスマートフォンを使用する機会が多くなっていることから、小学生の子どもをもち父親を対象に子どもと一緒に参加するスマホ講座を実施し、父子でスマートフォンの安全な使い方や管理の仕方を学ぶとともに、父親の子どもへの関わりを促すことを目的とする。</p>
対象	父親と子ども(小学生)
講師	モバイルプリンス 氏(島袋 コウ 氏)
会場	ているる3F 創作室・生活実習室
参加者数	大人7名 子ども7名
講演内容(概要)	<p>1. 基本</p> <ul style="list-style-type: none">・スマートフォンの種類、インターネットの世界 <p>スマートフォンは主にAndoroidとiPhoneの2種類。Andoroidは「自由」、iPhoneは「統制」。インターネットの世界ではいったん投稿したら消えないと考えたほうがいい。</p> <ul style="list-style-type: none">・オスメのスマホ、契約 <p>防犯的な面からも子どもに高価な機種はおすすめしない。大手の子会社の通信契約は値段が安い割に通信品質がいいことがあるためおすすめ。</p> <ul style="list-style-type: none">・ネットで友達を作ることの是非 <p>10年前に比べて、ネットとリアルの垣根がなくなっている。ネット上で友達をつくってもいいが、未成年のうちは直接会うのは避けたほうがいい。</p> <p>2. ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none">・「バトロワゲーム」と「ソーシャルゲーム」 <p>講師のプレイしたゲームの録画動画を投影しながら、2つのゲームの違いの説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none">・心身に負担がかかる「バトロワゲーム」 <p>集中しないといけないので、目がつかれたりして負担がかかる。負けず嫌いの子はストレスがたまることがある。特に夜にやると興奮して眠れない。</p> <ul style="list-style-type: none">・バトロワゲームで同じチームの人と仲良くなること <p>チームを組むことができ、チャット機能があるのでチームの人と仲良くなったりすることがある。実際に会うのは誘拐などの事件が相次いでいるので避けたほうがよい。</p> <ul style="list-style-type: none">・「お金を払えば強くなる」ソーシャルゲーム <p>ソーシャルゲームの場合は課金して強いアイテムを入手することが大事になる。</p> <ul style="list-style-type: none">・お金が無くても「時間」で解決 <p>お金が無くても、お題をクリアすればアイテムを入手することができるが、毎日こまめにプレイする必要があるため、生活のリズムが乱れる子どもも出てきている。ゲームはいずれなくなるため(人気なくなると終了する)、息抜き程度にやるのが大事。</p> <ul style="list-style-type: none">・課金トラブル <p>親のクレジットカードを登録していると子どもが課金して多額の金額が請求されることがある。子どもに利用させる場合はプリペイドカードの方が安心。</p> <p>3. SNS、ネットトラブル</p> <ul style="list-style-type: none">・スマホにどんどん依存する構造 <p>アプリは間に広告が入ってくることで無料になっており、個人の興味、趣向、関心等が収集され、売られている。アプリ会社はもっと利用してもらうように興味を引くことをどんどんやってくる。</p> <ul style="list-style-type: none">・テキストコミュニケーションは難しい <p>SNSでは言葉の使い方、ニュアンスが伝わりにくく、ちょっとしたことで仲違いすることもあ</p>

る。学校などで実際に会ったときなどに補足したりすることが大事。

・炎上、個人の特定

1つの投稿ではわからなくても、ジグソーパズルのように1ピースずつ繋げると個人が特定されることがあるため、注意が必要。

・ルッキズムに支配されるティーン向けコンテンツ

ルッキズムとは容姿至上主義のこと。カッコイイ人、かわいい人がもてはやされる。かわいくなれないといけない、スタイルがよくなれないといけないという脅迫観念に迫られ、断食アプリで拒食症になった事例もある。

4. 安心して使える方法

・まずはフィルタリング

持たせたばかりのときはフィルタリングでガチガチに制限したほうがよい。

・スクリーンタイムで制限

フィルタリングだけでは不十分なことがあり、アプリごと、機能ごとに発育状況に応じて制限をおこなうとよい。

・勉強に役立つアプリ

講師から勉強に役立つアプリの紹介があった。

スタディサプリ 有料だが、自粛期間中や塾に行けない子どもなどは便利。

日本地図パズル 都道府県名と位置、形状を学ぶことができる。(世界地図版もあり)

グーグルアース 世界旅行気分を味わえる。

・結局は自己肯定感が大事

沖縄は子どもに関わるサイバー犯罪が5割と全国に比べて多く、子供の居場所がなくなっている可能性がある。

自己肯定感が低いと犯罪者のカモにされることがある。最後に自分の存在をありのまま認める、優劣を競わない、尊重して接することが大切とのお話があった。



(自由記載欄より抜粋)

本日の講座はたいへん参考になりました。ゲームや SNS の取扱いには充分注意したいと改めて思いました。ありがとうございました。

参加者の声

今後、ネットによる人間関係等も大事になるかもしれないことが新鮮でした。

子供との接点（話す内容、話題）が見つかって良かったです。

いろいろな情報が得られて良かったです。今後、子どもにスマホを持たせる参考にしたいと思います。

主催等

主催：沖縄県、(公財)おきなわ女性財団